

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	熊本外語専門学校
設置者名	学校法人 辛島学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
教養専門課程	英語科	夜・ 通信	192 授業時数	80×2 160 授業時数	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kfla.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	熊本外語専門学校
設置者名	学校法人 辛島学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.kfla.ac.jp/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会長	2025. 5. 29 ～ 2029. 5. 28	学園の進むべき方向に対するアドバイス
非常勤	医師	2025. 5. 29 ～ 2029. 5. 28	学園の進むべき方向に対するアドバイス
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	熊本外語専門学校
設置者名	学校法人 辛島学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 運営委員会により、カリキュラム・シラバス・評価規定を検討し決定する。それにもとづき、各学科の教員間で到達目標を設定し、それをもとにテキストを選択し、年間(科目によっては半年間)の授業計画を策定する。語学科目については四技能(リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング)の円滑な習得に向けて、テキスト選択及び授業においてより、有効な結果につながるよう教員間で検討し調整する。原則的に英会話・中国語科目・韓国語科目・仏語科目においてはネイティブ教員が担当し、その他の教養科目・検定科目(英検対策、TOEIC 対策など)などを日本人教師が担当する。尚、語学以外の科目も含め、学生へのアンケート等を通じて毎年、科目、授業内容、テキストの見直しを行っている。 シラバスはホームページを通じて 4 月に公表している。	
授業計画書の公表方法	https://www.kfla.ac.jp/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修成果の評価については、原則年に 2 度の定期試験(前期 9 月、後期 2 月)を行い、各学期の学修成果を測定し、後期試験終了時に両定期試験の平均点で、年度の最終評価を行う。尚、評価には出席点も含めるが、その際の比重は試験 90%、出席 10%であり、客観的に、適切に評価を行っている。原則として、各科目は試験によって学修成果を測るが、海外留学やインターンシップなどでは試験に代えて報告書を課す場合もある。そうした場合も複数の教員で評価し、適切な評価を行っている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 本校は2期制で、各学期末に定期試験を実施する。履修科目の成績評価は、定期試験および授業等の学習活動（取り組み、提出物、小テスト等の科目担当者による評価）を90%、出席状況を10%とし、100点満点で評価する。各科目を評価した点数をGPに変換し、GPの平均（GPA）を算出する。
 各学期の定期試験等の点数を平均した点数が学年の成績となる。
 成績評価とGPAへの変換は下記の通りとする。

成績評価	S	A	B	C	D
点数	90点～100点	80点～89点	70点～79点	60点～69点	59点以下
GP	4	3	2	1	0

これらの指標についてはホームページで公表している。成績の分布状況を上記の指標により、適切に把握している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.kfla.ac.jp/disclosure/
----------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
 本校においては、英語・中国語・韓国語・仏語と、その語学力を活かした観光、航空、通訳に関する技能と、豊かな国際感覚を身に付けた人材の育成を目的としており、以下のとおりディプロマ・ポリシーを定めている。
 卒業認定は、学則第17条1項、教育課程に定める所定の時間在学习し、英語科106単位の取得と、その全ての科目においてC以上の成績を修めることを卒業の要件としている。詳細については学則の他、学科履修要項に規定しており、学生の卒業認定については、これらの規定に従い適切に実施している。本校ディプロマ・ポリシーについては、ホームページで公開している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.kfla.ac.jp/disclosure/
----------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	熊本外語専門学校
設置者名	学校法人 辛島学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kfla.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.kfla.ac.jp/disclosure/
財産目録	https://www.kfla.ac.jp/disclosure/
事業報告書	https://www.kfla.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.kfla.ac.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		教育専門課程	英語科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 単位時間	1,648 単位時間	2,192 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	160 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		72 人	1 人	8 人	20 人	28 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 運営委員会により、カリキュラム・シラバス・評価規定を検討し決定する。それにもとづき、各学科の教員間で到達目標を設定し、それをもとにテキストを選択し、年間（科目によっては半年間）の授業計画を策定する。語学科目については四技能（リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング）の円滑な習得に向けて、テキスト選択及び授業において、より有効な結果につながるよう教員間で検討し調整する。原則的に英会話・中国語科目・韓国語科目・仏語科目においてはネイティブ教員が担当し、その他の教養科目・検定科目（英検対策、TOEIC対策など）などを日本人教師が担当する。尚、語学以外の科目も含め、学生へのアンケート等を通じて毎年、科目、授業内容、テキストの見直しを行っている。 シラバスはホームページを通じて4月に公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 本校は2期制で、各学期末に定期試験を実施する。履修科目の成績評定は、定期試験および授業等の学習活動（取り組み、提出物、小テスト等の科目担当者による評価）を90%、出席状況を10%とし、100点満点で評価する。各科目を評価した点数をGPに変換し、GPの平均（GPA）を算出する。 各学期の定期試験等の点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評価とGPAへの変換は下記の通りとする。

成績評価	S	A	B	C	D
点数	90 点～100 点	80 点～89 点	70 点～79 点	60 点～69 点	59 点以下
G P	4	3	2	1	0

これらの指標についてはホームページで公表している。成績の分布状況を上記の指標により、適切に把握している。

卒業・進級の認定基準

(概要)
卒業の認定にあたっては、各科目の出席率 2/3 以上及び、成績 60 点以上をクリアーし、英語科 106 単位以上取得することが必要条件となっている。このことは、ホームページで公表している。

学修支援等

(概要)
資格取得率（英検、中検、TOEIC、旅行業務の国家資格等）、就職率、進学率（大学編入）の向上を図り、退学率の低減に努めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15 人 (100%)	1 人 (6.7%)	9 人 (60%)	5 人 (33%)
(主な就職、業界等) 天草エアライン株式会社、九州産交ツーリズム株式会社、株式会社バド・プレスト、株式会社共立メンテナンス、株式会社 Atona、株式会社フジワーク など			
(就職指導内容) 面接指導 など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定 2 級、国内旅行業務取扱管理者、TOEIC605 点、TOPIKⅡ 6 級 「ハングル」能力検定準 2 級、サービス接遇技能検定準 1 級、赤十字ベーシックライフサポーター など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52 人	3 人	5.7%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生本人との定期的な面談、保護者を含めた三者面談の実施など		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
英語科	150,000 円	645,000 円	100,000 円	
国際科	50,000 円	540,000 円	50,000 円	
日本語科	50,000 円	540,000 円	50,000 円	進学2年コース
日本語科	50,000 円	270,000 円	50,000 円	進学1.5年コース
修学支援(任意記載事項)				
特待生入学の学生及び、指定校推薦入学の学生に対しては、1年次を対象に授業料の減免が行われる。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) インターネット ホームページアドレス： https://www.kfla.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者委員会を設置し、学校自己評価の結果を客観的な視点から評価してもらう。主な評価項目は教育課程の編成、進路指導、運営方針、施設、設備、財務等である。5人の委員で構成し、卒業生、保護者、高校関係者、企業関係者である。評価結果は次年度のマネジメントシステムに生かされる。責任者には各担当者が就く。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
元公立高等学校校長	2025.6.11～2026.3.31	高等学校関係者
関連企業の元役員	2025.6.11～2026.3.31	企業関係者
関連企業の元社員	2025.6.11～2026.3.31	企業関係者
卒業生	2025.6.11～2026.3.31	卒業生
卒業生保護者	2025.6.11～2026.3.31	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス： https://www.kfla.ac.jp/disclosure/		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス： https://www.kfla.ac.jp
--